



將士の銃剣奉公に

銃後は債券で奉公

支那事變貯蓄債券の賣出に
早くも買入の前約申込

漢口は陥落しても事變の終局を告げるものではなく、敵の長期抗日に覺悟して聖戰の目的を遂げるまで進軍せねばならぬ戦時財政の困難なる進行を圖るため國民の赤誠を訴へる貯蓄債券は來十二月五日から二十日まで一齊に賣出される。平市内各銀行への同債券割當は縣農支店に於ける五圓(七圓五十錢)七圓(十圓)十五圓(四圓)三百圓(六圓)十圓(四圓)五百圓(五圓)と見られてゐるが尙ほこの外に平局に託される賣出し

第七回の事變國債

胸に愛國手に國債

平局の割當七、八萬圓か
十三日から廿四日迄の賣出

勸銀の貯蓄債賣出は別項所報の如くであるが政府に於ても該賣出期間中の十二月十三日から二十四日まで第七回の支那事變國債を賣出される。平局の割當は前回の半額七、八萬圓かと云はれてゐる。今回の債券も前に同じく十四圓、二十五圓、五十圓、百圓、千圓の五種で年末買取期に於ける一般の節約貯蓄に相當の購入

平市參事會

平市では來月二日午後一時から參事會を召集の筈だが附議の件目左の如くである。

寄附採納 消防手辻金太郎に對する弔慰金 本年度豫算の更生等に關する件

現はれば前回(第六回)の事變國債五千萬圓の豫定が實に九千五百萬圓に上る燃ゆる様な愛國心を遂げてゐるので今回の賣出は驚くほどの成績を挙げざるであらうと

警中平商を

督學監の視察

文部省大督學監は中等學校の一般施設及び特に商業教育に關して視察のため昨二十八日午後來平。二十九日東北の振出しに午前中平商業並びに磐城中學を視察の後宮城縣に向つたが同督學監は宮城から山形に移り同縣から再び本縣に途を向け中途の方面の學校を

夏井川の改修で

架換られる二橋

今廿九日平窪側の地主會

夏井川改修に附帶する好開川の同工事に伴ふ縣道小野新町平線に架かる平市地内の平川橋と本流の夏井川に架かる磐城橋は取付道路の潰れを交渉中であるが北目町分は既に地の承諾を得て好開川中川子の十名、平市下平窪の二十餘名の地主を残し過ぐる防空演習の爲め今二十九日午後一時磐城橋前後の築堤中である夏井川改修河川の出張所に平窪分の地主會を開き同地出身市議員矢吹龜作氏等の幹旋で關係地主の承諾を取纏められることになつたが架換えられる兩橋は好開川への交通の如きも

訓盲院の校旗

江尻氏百圓で調製
平市鍛冶町江尻七三郎氏は磐城訓盲院の校旗調製に金百圓を寄附調製中であつた此の程出来上つた同旗は紫地に月桂冠を配した中へ磐城の金文字を入れたもので見事出来を喜ばれ近く樹立式を行ふと

忠魂碑前に二百圓の石燈籠寄附
石城郡上遠野村の統計調査委員生田目重兵衛氏外九名は報酬金を二ヶ月前貯金した二百圓を以て同村忠魂碑前に戦歿者の慰靈のため石燈籠一對を寄附建設した

ゴールデン・ルールは黄金律新約馬太傳に凡事に人にせられんと思ふ事は爾曹も人に其如くせよ、及び路加傳に己れ人にせられんとする事は亦人に其如くせよを一括云々の名稱

錦城更に華

鮫川橋に街燈

地元負擔の費用で
石城郡南に於ける縣下屈指の長橋植田町と錦村の境に架かる鮫川橋は延長四百米の美觀を完成せんとしてゐるが工事費の中甲欄燈の設備が含まれてゐないので交通上に危険の虞れあるため古川植田、正木錦町村長から地元負擔の設備費で本月八日知事宛郵便で陳情されてゐたが二十日付で聽届けられ少くも片側五燈ぐらゐる十燈を對する事になるものゝ如くである

頑健にて軍務に勉勵

平市才植小路出身
氏次男孝夫君は兩角部隊下に活躍昨年十一月周家宅の激戦で敵手榴彈のため重傷再起を危ぶまれてゐたが右手を切断快癒の程凱旋した

郡市聯合の

石城農産品評

來月廿日過ぎ平市中
平市と石城郡の郡市聯合農産品評會は來る十二月廿日に開催の計議で昨二十八日午前十時から市内郡市聯合事務所樓上に郡市聯合及び各町村農會關係者を會して協議されたが期日は二十三日から二十五日に至る三日間平窪の會議室を會場に望まれてゐる模様なるも出品點数は少なくも一千点を越えるものゝ如く同品評會には蔬菜産地の飯野村北白土及び神谷村の中神谷、平市下平窪、好開川中川子、夏井村等から自慢の葱、人参、牛蒡大根等他に見られない菜譜らしいものが出るので本年は隣縣茨城からの參觀者もあるものゝ如くであるから一層優秀な出品を見せるであらうと

防空群國防献金

平市道匠小路第一家庭防空群は今二十九日金一圓の國防献金を佐川みほさんの名で市役所に寄託した

勿事兒童作品展

石城郡勿來第一小學校の兒童作品展覽會は去る二十五、六兩日同校に開催二千五百餘の出品から左記の特選を上げた

- ▲圖書等五大和田 高二石
- ▲書方等一長谷川▲手工

郡市農産品評

期日及び會場決定
平市と石城郡一圓の農産品評會開催につき農會關係協議會は別項所報の如くであるが期日は廿三、四、五の三日間會場は市公會堂に決し千五百點の出品に縣の古智技師を審査長に聘び矢ヶ崎縣農試石城分場技師、前田毅村支所長、郡市農會技術員の審査員で優良品を決する

自轉車の二人乗

自動車に轢かる

平市白銀町片桐自動車店からトラック運轉手青木義雄(三〇)は去る二十七日正午平市中二丁目料理店谷口樓角の十字路を進行中折柄自轉車でやつて來た新町折柄吉長男宗次(四)が同町折柄吉長男(一)を乗せたものと衝突し宗次は右足關節に一月の重傷、一郎は頭部に一週間の重傷で何れも田町安濟病院の手當中

山林に男の縊死

石城郡植田町八幡山の林中に五十六、七十才労働者風の男が縊死してゐるのを去る二十七日正午頃郡民が發見届出により植田町の検視の結果足尾銅山鑛夫今井源次郎とある鈴夫の印鑑あるのみで他に身元を知るに由なく同町の假埋葬に附して野崎山照會中

留守兒童作品展

石城郡勿來第一小學校の兒童作品展覽會は去る二十五、六兩日同校に開催二千五百餘の出品から左記の特選を上げた

- ▲圖書等五大和田 高二石
- ▲書方等一長谷川▲手工

御會葬御禮

昭和十三年十一月二十九日
平消防組

平消防組

高二鈴木▲手藝高一北郷
義隆六赤津 高二大石
農高高一石井 實業一小野
▲理科高二嶋 鴨川合作
健氣な出征勇士
留守の妻女
石城郡上遠野村の土橋農竹原と(三)さんは夫吉吉上等兵が出征の後夫に代つて部落の納税組合長とし活躍し老父長三郎(六)さん長男正君(二)外六人の幼兒を抱えながら六反歩の水田、二反歩の畑を耕作してゐる健氣さ村内から感心されてゐる

農業方面

空地利用の 小養魚池

野突栽培も出来る

青森縣大湊町助役佐藤勝氏は空地利用の廢物利用副業養魚を三ヶ年に亘つて研究、好成績を上げいと云ふ時には最も有効適切な火防用となり觀賞用ともなるので役場内空地に三個の養魚池をつくり獎勵の見本にしてゐるが尙ほ注目すべきは池内に夏冬とも強い水草を栽培、野菜缺乏の冬食用にすると共に魚の衛生と冬の避難所及び産卵所に利用、効果を上げてゐるので臨水試場では下北郡の稚魚孵化分譲指定地にした、池はなるべく四間四方以上のもので中央に隠れ場所の島を造るのが理想だが三年鯉までは岸邊に隠れ場所を造つて一間半に二間位の廣さでも間に合ふ、水深は三尺乃至四尺位とし底は柔土にし上から水をひける場所だと堀り放して、いから僅かな堀賃と稚魚代で済む、鯉の稚魚は一坪當り百五十乃至二百尾を放し一萬尾は十五間程度、一年目の斃死約三割、生存魚値段は約十倍の百四十間程度で二年目は斃死一割乃至一割五分で一尾八十錢乃至一圓に生長する、餌は残飯魚のフタ食べ残り馬糞などで台所の洗ひ流しを直接池に流し込む等、餌は掛ると餌を喰へると共に餌分が魚の光澤を増し病虫を驅除に役立つ逃げられの様、飼養もよく冬は雪除の場所を庭や藪で作つ

てやり風、鷹、鷹、カワセミなどに捕られぬ様設備する、水を上から流込む所は紅鱒が有望で場所が許すなら最も上の水の冷たい池が紅鱒、其の他で幾分温つた水を引く次の池が鯉や鯊と合理化することがよろしい

牛も豚も優良品の自慢

肉の御 三三三屋 平市 田町
用命は

◆一般印刷物も御引受致します
新しいわき新聞社
印刷部

デーリーサービス

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 土 | 金 | 木 | 水 | 火 | 月 | 割日 |
| ラン | ビフ | コフ | メン | エビ | チヤ | カツ | 品 |
| チ | フ | ロ | ポ | フ | ヤ | レ | 目 |
| キ | ケ | フ | ル | ラ | ツ | ツ | 目 |
| カ | カ | ケ | チ | イ | ツ | ツ | 目 |
| バ | キ | ケ | コ | フ | ツ | ツ | 目 |
| ハ | カ | ケ | コ | フ | ツ | ツ | 目 |
| ハ | カ | ケ | コ | フ | ツ | ツ | 目 |
| ハ | カ | ケ | コ | フ | ツ | ツ | 目 |
| ハ | カ | ケ | コ | フ | ツ | ツ | 目 |

特にマルトモのランチは...

材料のおまかせを願つて居る為め其の節々のおいしい新鮮な物を御準備出来たので御座いますからいつも御好意を戴いて居ります

御来店御名上りの時も御來客御用仕出し等御へて御座いますのでおまかせ御座いますれば季節の調子で美味快調なものを御準備出来たのでおまかせ非常に御好評で御座います

RESTAURANT MARUTOMO
堂食モトルマ

病室増築、手術室完備

産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二

平市新川町「電話二六九番」

大河内 整形科醫院

平市掻槌小路
電話五八八番

レストラン サロシ

喫茶、酒場を兼ねた。

町田平 二五三電

ツルヤ 豊富陳列 漸新型

藤沼醫院 平市紺屋町 電五〇七

皇軍戦勝二冬品會の第一線に立つ

子供帽子 中折帽子

スペイン G.H.N 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒 1・20

婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

(平2) 西村屋薬舗 (電3)

平病院 (平市元公共病院跡) 電話六四一番

院長 醫學博士 鈴木定藏

内兒科 鈴木定藏
外科 佐藤幾要
皮膚泌尿科 高橋俊幸
レントゲン科 鈴木定藏
物理療法科 鈴木定藏
薬剤科 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に從事す(急患は此の限にあらず)

根本 婦人科醫院

平市南町
根本 莊次郎
根本 貞雄
電話三四番

(入院隨時)

和洋銅鐵、金物問屋

釜屋商店
九九・九電

表代城磐 酒銘

美味經濟 醬油

山崎合名會社
電話番